

平成22年3月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成22年2月10日

上場会社名 中部水産株式会社
 コード番号 8145 URL <http://www.nagoya-chusui.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 堀 健雄
 (氏名) 鈴木 祥司

上場取引所 名
 TEL 052-683-3110

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	33,928	△8.4	139	39.5	243	10.9	120	13.2
21年3月期第3四半期	37,052	—	100	—	219	—	106	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	6.50	—
21年3月期第3四半期	5.59	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	15,654	12,324	78.7	662.46
21年3月期	14,870	12,364	83.1	664.15

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 12,324百万円 21年3月期 12,364百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
22年3月期	—	4.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	4.00	8.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	44,000	△6.8	50	15.2	210	6.8	130	△38.8	6.98

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

〔注〕詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	21,269,000株	21年3月期	21,269,000株
② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	2,665,164株	21年3月期	2,651,844株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年3月期第3四半期	18,605,455株	21年3月期第3四半期	19,121,736株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、一部に持ち直しの動きが見られたものの、企業収益の減少や個人消費の低迷は依然として続いており、デフレ懸念や為替相場の急激な変動など、先行きに対する見通しは、さらに不透明感が強まりました。

当業界におきましては、消費者の生活防衛意識の高まりにより節約志向、低価格志向が一層強まり、価格競争の激化も相まって、厳しい経営環境が続くなか、当社は、顧客ニーズに対応した営業活動を展開するとともに、企業体質の強化と収益の確保のための諸施策に全力で取り組んでまいりました。

当第3四半期累計期間の売上高は、主力の卸売部門が取扱数量の減少と魚価安により大幅な減収となり、飼料の販売不振もあって、33,928百万円(前年同四半期比8.4%減)となりました。経常利益は、売上総利益率の改善や年金制度の移行による退職給付費用の減少などがあり、243百万円(前年同四半期比10.9%増)となり、特別損失に投資有価証券評価損24百万円を計上し、四半期純利益は120百万円(前年同四半期比13.2%増)となりました。

部門別の業績は、次のとおりであります。

(卸売部門)

鮮魚部門は、生鮮キハダ、ホタテ貝柱などが入荷増で増収となりましたが、養殖ブリが取扱減、養殖フグなどの単価安、ウニ、トロ商材など高級品の消費減少などもあり、売上高は16,954百万円(前年同四半期比6.8%減)となりました。

冷凍魚部門は、尾付伸ばしエビなどが伸長しましたが、高価格商材である冷カニ、冷有頭エビなどの荷動き悪く、単価安も加わって、売上高は5,602百万円(前年同四半期比12.5%減)となりました。

塩干魚部門は、塩カズノコ、明太子などが取扱量の増加により増収となりましたが、醤油イクラが単価安、塩サバの需要減などにより、売上高は9,906百万円(前年同四半期比5.4%減)となりました。

この結果、卸売部門の売上高は32,463百万円(前年同四半期比7.4%減)となりました。

(その他の事業部門)

飼料工場部門は、養鰻用飼料の国内販売が池入れ稚魚の増加により、輸出が新規販売先の開拓などで増収となりましたが、養鶏用、養魚用飼料が他社との価格競争や需要減により大幅な取扱減となり、売上高は712百万円(前年同四半期比39.6%減)となりました。

食品加工場部門は、釜飯などのセット商品が取扱増となりましたが、ポット商品、ピロ商品が少量規格への変更や小口受注中心の販売となり、売上高は327百万円(前年同四半期比6.2%減)となりました。

冷蔵工場部門は、鮮魚貨物の取扱量が増加しましたが、主力商品である塩鮭鱒の搬入減と委託者の流通経費の削減などもあり、売上高は337百万円(前年同四半期比6.9%減)となりました。

不動産賃貸部門は、主な事業である賃貸マンション2棟、貸事務所1棟が順調に稼働し、売上高は87百万円(前年同四半期比2.4%減)となりました。

この結果、その他の事業部門の売上高は1,465百万円(前年同四半期比26.1%減)となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状態の変動状況

当第3四半期会計期間末における総資産は、15,654百万円となり、前事業年度末に比べ783百万円(5.3%)増加しました。これは主に、現金及び預金の減少785百万円などがありましたが、受取手形及び売掛金の増加1,358百万円、有価証券の増加300百万円などによるものであります。

負債は、3,330百万円となり、前事業年度末に比べ824百万円(32.9%)増加しました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加934百万円などによるものであります。

純資産は、12,324百万円となり、前事業年度末に比べ40百万円(0.3%)減少しました。これは主に、利益剰余金の減少28百万円などによるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期累計期間における現金及び現金同等物は、営業活動の結果、売上債権の増加等により70百万円、投資活動の結果、無形固定資産の取得による支出等により260百万円、財務活動の結果、配当金の支払等により153百万円それぞれ減少となったため、前事業年度末に比べ484百万円(7.6%)減少し、当第3四半期会計期間末には5,878百万円となりました。

3. 業績予想に関する定性的情報

今後の経済情勢は、景気が停滞するなか、個人消費の回復にはまだ相当の時間を要するものと予想され、当社を取り巻く経営環境は依然として厳しい状況が続くものと思われま

す。このような経営環境のもとで、当社は、出荷者、仲卸業者等に対する情報力と企画提案力を強化するなど積極的な営業活動を行ってまいります。

通期の業績予想につきましては、引き続き消費の低迷、販売単価の下落が見込まれるため、売上高は前回発表の予想を下方修正いたします。利益面は、売上総利益率の改善や諸経費の削減を図って、前回発表の予想通りといたします。

(通期)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (平成21年11月12日)	45,500	50	210	130	6.98
今回発表予想 (平成22年2月10日修正)	44,000	50	210	130	6.98

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却の方法として定率法を採用しているため、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

② 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額に関して、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定して算定しております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前事業年度末以降に経営環境等及び一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前事業年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを使用しています。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

(追加情報)

退職給付引当金

当社は、従来より税制適格退職年金制度及び退職一時金制度を採用しておりましたが、平成21年10月1日より税制適格退職年金制度を確定給付企業年金制度に移行しました。本移行に伴う影響額は、当第3四半期累計期間の退職給付費用の減額として64,064千円計上し、営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益は同額増加しております。

5. 【四半期財務諸表】
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,138,659	4,924,577
受取手形及び売掛金	3,576,452	2,217,805
有価証券	1,800,000	1,500,000
商品及び製品	596,474	508,343
仕掛品	18,776	28,467
原材料及び貯蔵品	320,057	437,972
その他	134,657	131,441
貸倒引当金	△20,508	△12,728
流動資産合計	10,564,569	9,735,880
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,678,951	1,772,863
その他(純額)	844,894	866,273
有形固定資産合計	2,523,846	2,639,136
無形固定資産		
	134,878	35,932
投資その他の資産		
投資有価証券	1,792,304	1,825,407
その他	674,717	670,449
貸倒引当金	△35,499	△35,886
投資その他の資産合計	2,431,522	2,459,970
固定資産合計	5,090,247	5,135,039
資産合計	15,654,816	14,870,919
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,049,802	1,115,562
受託販売未払金	228,877	156,228
未払法人税等	5,547	6,038
賞与引当金	22,620	72,200
役員賞与引当金	—	10,800
その他	387,330	264,257
流動負債合計	2,694,176	1,625,086
固定負債		
長期未払金	45,978	189,904
退職給付引当金	502,916	601,886
その他	87,468	89,411
固定負債合計	636,363	881,201
負債合計	3,330,540	2,506,288

(単位:千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,450,000	1,450,000
資本剰余金	1,342,597	1,342,597
利益剰余金	11,343,724	11,371,759
自己株式	△1,287,195	△1,282,763
株主資本合計	12,849,126	12,881,593
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△524,850	△516,961
評価・換算差額等合計	△524,850	△516,961
純資産合計	12,324,276	12,364,631
負債純資産合計	15,654,816	14,870,919

(2) 【四半期損益計算書】
【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	37,052,096	33,928,457
売上原価	35,295,802	32,292,813
売上総利益	1,756,293	1,635,644
販売費及び一般管理費	1,656,155	1,495,946
営業利益	100,138	139,697
営業外収益		
受取利息	23,538	15,536
受取配当金	47,763	42,622
受取手数料	26,510	30,826
その他	21,464	14,470
営業外収益合計	119,276	103,456
営業外費用		
自己株式取得費用	192	35
営業外費用合計	192	35
経常利益	219,222	243,118
特別利益		
投資有価証券売却益	7,100	—
その他	25	—
特別利益合計	7,125	—
特別損失		
投資有価証券評価損	44,261	24,063
その他	1,068	72
特別損失合計	45,329	24,136
税引前四半期純利益	181,017	218,982
法人税、住民税及び事業税	82,496	3,167
法人税等調整額	△8,281	94,964
法人税等合計	74,214	98,132
四半期純利益	106,803	120,850

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	181,017	218,982
減価償却費	137,370	147,329
貸倒引当金の増減額(△は減少)	19,351	7,392
賞与引当金の増減額(△は減少)	△47,000	△49,580
退職給付引当金の増減額(△は減少)	68,372	△98,970
投資有価証券売却損益(△は益)	△7,100	—
投資有価証券評価損益(△は益)	44,261	24,063
受取利息及び受取配当金	△71,301	△58,159
売上債権の増減額(△は増加)	△1,514,618	△1,364,085
たな卸資産の増減額(△は増加)	△259,070	39,474
仕入債務の増減額(△は減少)	880,911	1,006,889
未払消費税等の増減額(△は減少)	△111,124	△810
未払費用の増減額(△は減少)	1,514	△4,288
その他	12,198	5,191
小計	△665,216	△126,572
利息及び配当金の受取額	70,589	60,041
法人税等の支払額	△10,246	△4,189
営業活動によるキャッシュ・フロー	△604,873	△70,720
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△62,300	△158,700
定期預金の払戻による収入	60,300	59,800
有形固定資産の取得による支出	△24,892	△14,638
無形固定資産の取得による支出	—	△119,312
投資有価証券の取得による支出	△1,386	△28,354
投資有価証券の売却による収入	57,100	—
その他	△1,358	551
投資活動によるキャッシュ・フロー	27,463	△260,654
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△903,674	△4,467
配当金の支払額	△156,772	△148,931
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,060,446	△153,398
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,637,857	△484,772
現金及び現金同等物の期首残高	6,790,711	6,363,314
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,152,853	5,878,541

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. 卸売部門の販売・仕入状況

(1) 販売実績

部門別	前第3四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	前事業年度 (自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)
鮮魚部門(千円)	18,196,551	16,954,254	23,546,637
冷凍魚部門(千円)	6,402,636	5,602,643	7,996,519
塩干魚部門(千円)	10,470,523	9,906,371	13,254,791
合計(千円)	35,069,712	32,463,270	44,797,949

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 仕入実績

部門別	前第3四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	前事業年度 (自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)
鮮魚部門(千円)	17,400,400	16,148,639	22,461,754
冷凍魚部門(千円)	6,070,109	5,366,648	7,434,706
塩干魚部門(千円)	10,161,774	9,480,290	12,670,325
合計(千円)	33,632,284	30,995,579	42,566,787

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

7. その他の事業部門の販売・生産状況

(1) 販売実績

部門別	前第3四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	前事業年度 (自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)
飼料工場部門(千円)	1,181,129	712,812	1,367,020
食品加工場部門(千円)	348,897	327,285	443,920
冷蔵工場部門(千円)	362,628	337,516	466,061
不動産賃貸部門(千円)	89,728	87,572	118,532
合計(千円)	1,982,384	1,465,187	2,395,534

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 生産実績

部門別	前第3四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	前事業年度 (自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)
飼料工場部門(千円)	1,079,772	667,984	1,256,610
食品加工場部門(千円)	375,851	347,549	476,582
冷蔵工場部門(千円)	343,509	320,219	456,780
合計(千円)	1,799,132	1,335,753	2,189,973

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 受注状況

当社は、ごく少数の特殊製品について受注生産を行うほかは、すべて見込生産であります。